

保育計画成果報告書

法人名	
施設名	保育所ちびっこランド浦和ひかり園
報告者（役職）	田村 正子（園長）
住所・連絡先	さいたま市浦和区岸町7-3-10 岸町コーポ1F
	☎ 048-832-6668
	E-mail urawahikari@grace-saitama.com

○タイトル（保育計画）

1. 安全かつ楽しい散歩ができる
2. 睡眠をこちよく衛生的にとれるようにする
3. 食に関わる衛生管理の充実

○主な助成備品

お散歩カート・お昼寝ベッド・消毒食器保管機

1. 保育計画策定の目的

浦和ひかり園は、2013年5月に開園し、0歳児より2歳児まで19名のお子さんをお預かりする小規模認可園です。子ども一人ひとりの気持ちを大切に受け止めながら、その発達・成長を見守り、心身共にすこやかな成長ができるように日々の保育にあたっています。よく遊び、よく食べ、よく眠り、安心して過ごせるようにと願っています。そして日々生活する中で人に対する愛情や信頼・道徳性を育み、個々の成長に合わせて身の自立と自律をめざし、将来にわたり生きる力の基礎を身につけます。

2. 具体的な実施内容

<お散歩カート>

当園は街中に位置し園庭のない園ですが、近くに緑豊かな大きな公園があり、日々の散歩ではよく利用しています。公園までは徒歩で10分ほどかかり交通量の多い横断歩道も渡ります。0歳から2歳の子供たちをつれて屋外で活動をするためには安全確保が大きな課題の一つでもあります。

0歳児は秋頃位まで、ハイハイや、つたい歩きの時期でもあり、4人乗りの散歩カーは活躍しました。まわりの様子を見たり、保育者としっかり目を合わせ、ことばをかけながら散歩が楽しめました。また、一人ひとりの表情や体調なども常に見守ることができるのもとても安心でした。隣に座っている友達を少ずつ意識するようになり顔を見合わせてほほ笑んだり、保育者のことばかけも楽しめるようになり戸外に出ることをとても喜ぶよう

になりました。一人ずつゆったりと座りシートベルトで体がきちんとささえられているので安全面でも安心できました。

一方ワゴン型の方は、歩行がよくできるようになったが歩いての散歩はむずかしい時期の子ども達を乗せての散歩となりました。戸外に出ることがとてもうれしい子どもたち、‘ブーブーにのるー！！’ ‘おさんぽいくー！！’ と喜んで身支度等もできるようになりました。たくさん通る車を見たり、道端の草花、木々の葉、実の様子を見たり、変化に気付いたり、保育者との会話を楽しんだり、とても楽しい散歩ができました。交通量の多い横断歩道も安心して渡ることができ、公園までの所要時間も短く到着できるようになりました。又安全に安心して子どもたちを引率できることは、何よりも大きなメリットとなりました。双方共に折りたたみ式なのでコンパクトに収納できることも大きな魅力の一つとなりました。



<お昼寝ベッド>

散歩に出かけ広い場所でのびのびとあそび、園にもどって、手作りの給食を食べ、いよいよお昼寝の時間。疲れた体を休める大切な時間です。ベッドでの午睡は2歳児中心にしています。1歳児のあいだは布団で寝ていましたが2歳児になりベッドで寝ることになります。1歳児の時にその様子を見ているので、とても楽しみに寝ることができました。

初めにベッドに寝る時の約束、安全に寝るための手立てなどを説明したり手本を見せると興味津々の子どもたちは、とてもよく聞いたり、見たりし真剣に取り組んでいました。ベッドに寝ることは、1つ大きくなったから寝られるとの喜びも大きく、とてもうれしいお昼寝になりました。だんだん慣れてきて、シーツをきれいに整えたり、毛布（バスタオル）等を自分で上手にセッティングして寝られるようにもなりました。午睡時の着替えも自分で積極的にできるようになり、脱いだ衣服を自分でたたみ、ビニール袋にしまい、バッグにしまう等もできるようになっています。布団からベッドになり、環境の変化で眠れない子がいるのではないかと心配も全くなく、初めて寝るその日より全員ぐっすりとお昼寝ができて今でも変わりません。とても寝心地がよく安心して休むことができること、汗をかくなど代謝の大きい子どもたちにとっては、通気性の良さは衛生面で大変良い状況でお昼寝しています。



<消毒食器保管機>

公園でたくさん遊んでの帰り道‘おなかすいたー’‘給食なにかなー’の声も多く聞こえます。又室内で遊んでいて調理の匂いが流れてくると‘おいしいにおいがするー’等もあり、給食をととても楽しみにしている子どもたちです。

管理栄養士のもと健康管理はもとより食べ物への関心を高めたり、月齢に合わせての調理で楽しくおいしい給食となっています。おいしい給食を安全にかつ衛生的に提供するために、以前は大きななべにお湯をわかし、食器類を煮沸消毒していました。園児の病気や中毒等を未然に防ぐことには、細心の注意を払い、その手間暇もとても大変な作業でした。しかし、消毒食器保管機を導入してからは洗った食器をそなえつけのカゴに入れ、すぐに収納し消毒保管機に入れ、安心・安全そして短時間に消毒保管でき作業効率もよくなりました。

3. その成果と評価

子どもたちはすっかり成長し、4人乗りの散歩カートに座って散歩を楽しんでいた子どもたちは、立ち乗りの散歩カート乗って、しっかりと立ち楽しく散歩に出かけたり、立ち乗りの散歩カートに乗っていた子どもの中には歩いていきたいと言い出し、歩いての散歩が楽しめるようになりました。歩きながらあるいは散歩カートに乗りながら、安全に歩くことのルールを理解し、横断歩道では信号をよく見て、安全な場所で待ち安全に渡ることの大切さを知る。そして周囲の様子にも目を向け、地域の方々との交流を深めたり、自然及び季節の変化に気づき感じたこと思ったこと聞こえたこと等を自分のことばで表現できるようになりました。

お昼寝用のベッドの使用により、心地よく眠り、通気性もよく衛生面でも安心して使用できます。ベッドで休むにあたり、衣服の着脱をし、たたんでビニール袋に入れバッグにしまう、心地よく休むために、好きな友だちと並んで自分の好きな場所にベッドを置く、シーツや毛布を自分できれいに整える等、とても楽しみながら積極的に行う姿があります。子どもたち自らが安心して休むために、寝心地のいい状況を作るために、自主的な動き

が多々あり、‘自分でする！！’自立の気持ちがとても強く感じられます。

4. 今後の課題と展望

新年度4月には、また小さいお子さんたちが入園してきます。その時には再び4人乗りの散歩カーが大活躍の日々となることと思います。食育の面でも哺乳瓶や離乳食用の食器他、消毒保管されていることにより、すみやかに使用できることは忙しく保育している中でとても便利であり、衛生面でも安心して使用することができます。衛生管理のゆき届いた状況において管理栄養士による管理のもと作られた、おいしい給食をしっかりと食べ、生涯健康にしっかりと生き抜いていける丈夫な身体の基礎を、しっかりと作って欲しいとも願います。朝早くより登園し、夕方遅くのお迎えの保育等で睡眠時間が充分ではない子どもたちも多く見受けられます。このような子どもたちが自主的に生活しようとする力、その中で培われていく生きるために必要な力を充分に見守り、育てていきたいと思えます。そして不足しがちな睡眠時間を少しでも補うことができ、健全な心と身体を作り、生活して欲しいと願っています。今後も、様々に保育環境を整え、子どもたち一人ひとりがのびのびと健やかに成長し、より良い保育園生活がおくれるようにできるかぎりの努力をして参りたいと考えております。

以上